

令和3年2月第2回教授会議事要旨

1. 日 時 令和3年2月19日(金) 9:03 ~ 10:07
2. 場 所 大講義室
3. 出欠者 出席者88名 欠席者14名
4. 議 題

(1) 学生の身分異動(案)について

教務委員長から、学生4名の身分異動(案)について説明があり、承認された。

(2) 令和3年度に係るコースナンバリング等の見直し及び更新について

教務委員長から、令和3年度に係るコースナンバリング等の見直し及び更新について説明があり、承認された。

(3) 教育学部講義室等の使用に係る申合せについて

教員養成系学務課長から、他部局又は学生団体への講義室等貸し出しにかかる申し合わせを資料のとおり作成した旨の説明があり、承認された。

(4) 教員の公募について(社会科教育講座、数学教育講座、幼児教育講座、身体・スポーツ)

公募を予定している各教室主任からそれぞれ資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

なお、「9. その他」欄の面接の表記に関しては、単に“面接を行います。”ではなく、“場合によっては面接を行います。”というように、“場合によっては”という文言をつけて表記するように統一することとなった。

(5) 非常勤講師の資格審査について

非常勤講師を任用する予定の保健体育科教室及び特別支援教室の教員より説明があり、承認された。

(6) 附属幼稚園長候補者の選出について

学部長から、現附属幼稚園長の任期が令和3年3月31日をもって満了となることから、次期附属幼稚園長を選出したい旨発言があった。

引き続き、選考委員会委員長から、選考委員会において、教授1名を候補適任者として選出した旨の報告があった。次いで学部長から、投票要領の説明とともに、この後の議題となっている附属中学校長の選出及び附属特別支援学校長の選出にかかる投票も効率化の観点から一度に実施することが確認された。

投票の結果、有効得票数の過半数を得た候補適任者を附属幼稚園長候補者とし、学長に推薦することが承認された。

(7) 附属中学校長候補者の選出について

学部長から、現附属中学校長の任期が令和3年3月31日をもって満了となることから、次期附属中学校長を選出したい旨発言があった。

引き続き、選考委員会委員長から、選考委員会において、教授1名を候補適任者として選出した旨の報告があった。

投票の結果、有効得票数の過半数を得た現附属中学校長を附属中学校長候補者(再任)とし、学長に推薦することが承認された。

(8) 附属特別支援学校長候補者の選出について

学部長から、現附属特別支援学校長の任期が令和3年3月31日をもって満了となることから、次期附属特別支援学校長を選出したい旨発言があった。

引き続き、選考委員会委員長から、選考委員会において、教授1名を候補適任者として選出した旨の報告があった。

投票の結果、有効得票数の過半数を得た現附属特別支援学校長を附属特別支援学校長候補者（再任）とし、学長に推薦することが承認された。

(9) その他

なし。

5. 報告事項

(1) 大学運営会議（2月18日）について

学部長から、大学運営会議の議事内容について報告があった。

(2) 令和3年度第56回こどもまつりについて

学生・就職委員会委員長から、こどもまつり実行委員会より、コロナウイルスによる感染状況が収束しないことから、令和3年度はこどもまつりを実施しないことの連絡があり、これを受けて学生・就職委員会では2月4日にメール審議を行い、令和3年度は「こどもまつり」を実施しないことを確認した旨の報告があった。

(3) 国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）の令和2年3月卒業者の就職状況について

学生・就職委員会委員長から、令和2年3月に卒業した教育学部生の教員就職率は、64%であり、本学教育学部は国立大学教員養成系学部の中では、下から2番目であったことの報告があった。これについて学部長からは、近々教室主任会議を開催して対応を協議する予定であること等の説明があった。

(4) 生命倫理審査申請に対する審査結果について

生命倫理審査委員会委員長から、3件の申請があり、審査の結果承認されたとの報告があった。

(5) 令和元年度卒業のA0・推薦入学者の進路等について

点検・評価委員会委員長から、A0入試・推薦入試受験合格者の教員就職率が非常によくないことから、学生がなぜ教員に就職しなかった（できなかった）のか、それに関する情報提供を各教室に依頼し、原因を解明するための試みを行い、それを今回配布している資料にまとめた旨の説明と資料内容に関する報告があった。

(6) 卒業生調査（勤務校）の結果について

点検・評価委員会委員長から、20代の千葉大学教育学部卒業生が教師として所属する千葉市内の教育実習校に協力を依頼し、卒業後の状況調査を行ったことの説明とともに、アンケートの回収率は75%であったこと、回答内容は、概ね全体的には良好な評価であったが、中には、他の教職員との関わり方について積極的にコミュニケーションを図ることが必要、保護者に対して友達のように話す者がいてそれは問題、声の大きさが十分ではない、という意見などもあったことの報告があった。

続いて教員養成開発センター所属の教授から、書かれている内容については納得のいくものであると感じたが、一部学生の声の小さいなどという意見については、どちらかというと千葉大生は全体的に落ち着いている学生が多いため、そのように捉えられたのではないかと説明があった。

(7) その他

なし。

## 6. 連絡事項

### (1) 教育実習委員会からの連絡

教育実習委員会委員長から、以下のとおり連絡があった。

1. 前回の教授会で事前オリエンテーションの欠席者について各教員へご指導をお願いし、学生へ指導を行っていただいたことにより、小学校教育実習事前オリエンテーション全7回が無事終了し、継続指導で次年度コア実習に進めさせることが出来そうであるが、若干名の学生について指導が行き届いていないことから、教授会終了後、クラス顧問へ指導をお願いする予定である。
2. 3月上旬に来年度のコア実習校の最終調整を行う予定であるが、現段階で協力校に行くことになっている学生で、今年度を通して精神面などで気になる学生がいる場合には、調整を行うので、2月末までに学生支援係長へ連絡願いたい。

### (2) 次回教授会について

学部長から、次回教授会の開催について、次のとおり連絡があった。

日時 3月8日(月) 9時00分～  
場所 大講義室

### (3) その他

・研究担当副学部長から、学部長からの大学運営会議報告でも説明のあった若手教員を対象とした研究費支援について、今年度末44歳以下の若手教員を対象に、20万円から50万円の間で支援を行うことができることから、対象となる教員には、ぜひ申請を行ってほしい旨の連絡があった。

・引き続き同副学部長から、オンライン開催としていたアジア・アセアン教育センターの年次集会は参加者およそ700名と盛況のうちに無事終了したことの報告とともに関係教員への謝辞があった。

・教員養成開発センター長から、教室主任へはメールで連絡済みであるが、千葉県教育委員会の認定講習について1年前の方法に戻して実施する予定であることから、対応をお願いしたい旨の依頼があった。

以上